



ヨルダン アンマン

2016 年 9 月～2019 年 9 月滞在

(2020 年記)

基本情報

気温	同時期の東京とほぼ同じだが、年間を通して雨はほとんど降らず乾燥している
緊急電話	警察 911 救急・消防 911
電圧	240V プラグは C、B、BF、A と C 共用タイプなども見られる
水	飲用には宅配のミネラルウォーターを使用

買い物

日本の物	家電製品は一部あるがほとんどない 常温、冷凍の食品は業者用の問屋で個人でも購入が可能
食料品	野菜、果物は地物・輸入品共に豊富 専門店の肉は羊、牛、鳥があり全て美味しく豚肉も入手可能 アジアンスーパー、韓国食材店、週1回開店の中華ショップで和食の食材はだいたい揃えることが可能
日用雑貨	ヨーロッパ、近隣諸国からの輸入品が多く手に入る
学用品	入手可能な物もあるが、日本から持参したほうが確実
衣類	輸入品はサイズ種類共に豊富だが割高になるので、靴下や下着などは日本製を持参するほうが無難

交通

公共交通	鉄道はないのでタクシーやウーバーを利用 運転手付きの社用車を利用する人もいる
運転免許	日本の運転免許証、大使館で発行される書き換え証明書・滞在証明書を持参し、免許センターで手続きをする

住居

住宅事情	低層4階建てくらいのマンションが多い 床は石が多く、冬は寒いが広い
日本人が多く 住むエリア	アンマン市内、4.5.6 サークル付近 アブドゥーン、ジャバールアンマン
使用人	1週間に数日、通いのメイドを雇用する人が多い 日本人は、フィリピン人を雇う人が多い
治安 セキュリティ	比較的良好 日中はウォーキングしている人もいるが、歩道は整備されていない 地上階には住まない方が無難

	すり、置き引きなどはあまりないが、用心はした方がよい
--	----------------------------

教育

習い事	インターナショナルスクールでは、放課後、専門の先生に楽器やスポーツを習うことができる
アドバイス	日本人学校はなく、アメリカンスクールかブリティッシュスクールに通わせる家庭が多いです。

病院

医療事情	医療水準は割合高いが、歯科医は先生によって治療の質がかなり異なる
日本人医師	いない
薬品	薬局が至る所にあるが、薬は日本に比べて強いといわれるので、常備薬は日本から持参したほうがよい

交流

日本人	日本人会には年1回の運動会と懇親会がある 子どもが補習校に行くと交流も多くなる
現地の人	日本 ^{びいき} の方が多く、習い事、ご近所付き合いを通して交流は可能 親切な人が多い
駐在外国人	子どもがインターナショナルスクールに通うと交流が増える ボランティア活動をするサークルもある

伝えたいこと

心配していた治安は思いの外問題がありませんでした。生活すると、親日派の国だということを実感しました。日本製のものはほとんどありませんが、欧州も近く、高品質な輸入品が多数あるので生活には不自由しません。イスラム教の国ですが、ヘジャブと呼ばれるスカーフを頭に巻いていない女性も多く、また、ワインを生産していることから飲酒に対しても寛容、自由な雰囲気があります。とはいえ、イスラム教の文化を尊重して生活することが大切だと思います。ヨルダンには四季があり、アンマンは海拔 900 メートルにある為、真夏でも35℃には達しません。冬は日本と同じく寒くなりますが、それ以外、ほぼ毎日青空、爽やかなアンマンの気候が今でも恋しく思い出されます。死海やペトラ遺跡、ワディラムという自然豊かな観光地もあり、家族で小旅行も楽しめます。